

## 2026年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
221121055	基礎栄養学Ⅱ Basic Nutrition Ⅱ	竹村 ひとみ			2	選択	2前期
<b>科目の概要</b>							
この科目は、管理栄養士に不可欠な専門的知識・技能を身に付け、人々の日常生活を健康の面から支援するため（DP3,4）の基盤となる科目である。そのために、社会的に自立して生きていく上で必要な一般的知識・技能を身に付け（DP2）、学修内容の理解・修得につなげる。基礎栄養学Ⅱでは、基礎栄養学Ⅰで学んだことを基に、各栄養素の機能について学び、健康の保持・増進、生活習慣病の発症予防・重症化予防における栄養素の基礎的役割を理解する。特に、タンパク質、ビタミン、ミネラルの生理機能、体内代謝・調節機構、他の栄養素との関係について理解を深める。							
<b>学修内容</b>				<b>到達目標</b>			
① 摂取した食物中の栄養素が体内でどのように消化、吸収、代謝、排泄されるのかについて学修する。 ② 栄養素の代謝とその生理的意義について学修する。 ③ 水・電解質の代謝について学修する。 ④ エネルギー代謝について学修する。 ⑤ 遺伝子と栄養の相互作用について学修する。				① 摂取した食物中の栄養素が体内でどのように消化、吸収、代謝、排泄されるのかを理解し、個人の健康維持、疾病予防に関する課題解決に繋げることができる。 ② 栄養素の代謝と生理的意義を理解し、個人の健康維持、疾病予防に関する課題解決に繋げることができる。 ③ 水・電解質の代謝について理解し、説明することができる。 ④ エネルギー代謝について理解し、説明することができる。 ⑤ 遺伝子と栄養の相互作用について理解し、説明することができる。			
<b>学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素</b>		<b>学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例</b>					
前に踏み出す力	主体性	学修内容を修得するため、テキストを活用して予習に取り組むことができる。重要点を抽出することができる。					
	働きかけ力						
	実行力	学修内容を修得するため、テキストを活用して予習に取り組むことができる。分からない点を自ら調べることができる。					
考え抜く力	課題発見力	学修内容の疑問点や自身に不足している点を抽出し、その内容を解決するための自己学修ができる。					
	計画力						
	創造力	今までの知識を活用しつつ、新たな知識の獲得のための自己学修ができる。					
チームで働く力	発信力	自分の考えをまとめて発言することができる。分からないことや疑問に感じたことに対し、質問することができる。学修内容を分かりやすく整理しまとめることができる。					
	傾聴力	他者の発言に耳を傾け、必要なことは必ずメモを取る。相手の意見や伝えたいことを引き出すことができる。					
	柔軟性						
	状況把握力						
	規律性	無断欠席、遅刻、居眠り、私語など授業に支障をきたす行動をせず、ルールを守ることができる。提出物を期限までに提出できる。					
	ストレスコントロール力						
<b>テキスト及び参考文献</b>							
テキスト：健康・栄養科学シリーズ「基礎栄養学」（南江堂） その他：適宜プリントを配布する。必要に応じて外部webサービスを紹介する。							
<b>他科目との関連、資格との関連</b>							
「基礎栄養学Ⅱ」は、学科専門科目の専門分野に位置する。「基礎栄養学Ⅰ」で獲得した知識・技能を活用する。また、並行して履修する「食事摂取基準論」「応用栄養学Ⅰ」、次に学修する「基礎栄養学実験」の基盤となる科目である。関連する資格は、管理栄養士、食品衛生管理者、食品衛生監視員、社会福祉主事である。							
<b>学修上の助言</b>				<b>受講生とのルール</b>			
栄養学に関する基本的かつ幅広い知識を修得するために、関連科目のテキストを活用して欲しい。専門科目を学ぶための基礎となる科目である。不明な箇所を残さないよう、毎回復習するよう努める。授業内容に沿った課題（問題）に取り組み、内容の理解を深めるため、NotebookLMを活用する。				授業で配布する資料の予備は原則保管しない。自分できちんと管理すること。Google classroomを活用し、資料の配付や課題の提出を行うこともある。授業中の私語は慎み、積極的に取り組みこと。遅刻3回を欠席1回として扱う。			

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	75	①	✓	・到達目標に沿った基礎的知識の獲得、活用、課題解決に向けた提案ができるかを評価基準とする。 <pisa型学力の評価> 知識の獲得（到達目標①～⑤）40% 知識の活用（到達目標①～⑤）40% 獲得した知識を活用した課題解決（到達目標①②）20% ・次の到達レベルをもって合格の基準とする。 S：栄養の基本的概念および意義、各栄養素の体内動態および役割について、重要な内容を全て理解し、適切な語句を用いて説明できる。 A：学修内容に関する重要な内容を80%以上理解している。 B：学修内容に関する重要な内容を70%以上理解している。 C：学修内容に関する基礎的な内容を理解している。 F：Cのレベルに達していない。	
			②	✓		
			③	✓		
			④	✓		
			⑤	✓		
	平常評価	小テスト	15	①	✓	・毎授業で修得する基礎的知識の獲得について確認する。 授業で学修した内容を出題範囲とする。 全ての確認テストの得点を評価対象とする。 <pisa型学力の評価> 知識の獲得（到達目標①～⑤）60% 知識の活用（到達目標①～⑤）40%
				②	✓	
				③	✓	
				④	✓	
				⑤	✓	
		レポート	0	①		
				②		
				③		
				④		
				⑤		
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	0	①				
		②				
		③				
		④				
		⑤				
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	（主体性） 予習により、学修内容の要点をまとめることができる。 （実行力） 予習により、学修内容の不明な点について調べることができる。 （課題発見力） 学修内容の疑問点や不足している点を抽出することができる。 （創造力） 学修した内容を基に、問題を作成できる。 （発信力） 学修内容を分かりやすく整理しまとめることができる。疑問点や質問に対して自分の考えを発信できる。 （傾聴力） 話す相手に意識を向け、必要なことはメモを取る。 （規律性） 提出物を期限までに提出できる。	
			②	✓		
			③	✓		
			④	✓		
			⑤	✓		
総合評価割合		100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
S(秀)は、各栄養素の体内動態および役割、エネルギー代謝、遺伝子と栄養について、修得すべき内容を全て理解し、重要語句を使用して論理的に説明することができる。 A(優)は、上記の項目について、修得すべき内容を十分理解し、適切な語句を使用して説明ができる。	各栄養素の体内動態および役割、エネルギー代謝、遺伝子と栄養について、修得すべき内容をほぼ理解できている。 栄養素の基礎的役割に関する重要語句の意味を理解し、用語を正しく使うことができる。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	タンパク質① タンパク質とアミノ酸の体内代謝について学ぶ	講義、ペアワーク ディスカッション	タンパク質とアミノ酸の体内代謝について説明できる	(予習) テキストp47-48, 162-164を読み、要点をまとめる (復習) タンパク質の体内代謝について整理する	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2	タンパク質② 食後、食間期のタンパク質・アミノ酸代謝、臓器差について学ぶ	確認テスト、解説 講義、ペアワーク ディスカッション	食後、食間期のタンパク質・アミノ酸代謝の臓器差について説明できる	(予習) テキストp166-171を読み、要点をまとめる (復習) 食後、食間期のアミノ酸代謝・臓器差について整理する	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3	タンパク質③ 窒素出納、タンパク質の栄養価について学ぶ	確認テスト、解説、 フィードバック 講義、ペアワーク ディスカッション	窒素出納、タンパク質の栄養価について説明できる	(予習) テキストp165-166, 171 -174を読み、要点をまとめる (復習) 窒素出納、タンパク質栄養価を整理する	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	タンパク質④ アミノ酸代謝と関連する代謝疾患について学ぶ	確認テスト、解説、 フィードバック 講義、ペアワーク ディスカッション	アミノ酸代謝と関連する代謝疾患について説明できる	(予習) テキストp175-179を読み、要点をまとめる (復習) アミノ酸代謝と代謝疾患について整理する	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	ビタミン① ビタミンの分類と特徴、脂溶性ビタミン(ビタミンA)の構造と生理機能、吸収、関連疾患について学ぶ	確認テスト、解説、 フィードバック 講義、ペアワーク ディスカッション	ビタミンの分類と特徴、ビタミンAの構造と生理機能、吸収、関連疾患について説明できる	(予習) テキストp35-79, 93-94, 199-202を読み要点をまとめる (復習) ビタミンAの生理機能について整理する	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	ビタミン② 脂溶性ビタミン(D, E, K)の構造と生理機能、関連疾患について学ぶ	確認テスト、解説、 フィードバック 講義、ペアワーク ディスカッション	ビタミンD, E, Kの構造と生理機能、関連疾患について説明できる	(予習) テキストp203-208, 95を読み要点をまとめる (復習) ビタミンD, E, Kの生理機能について整理する	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	ビタミン③ 水溶性ビタミンの構造と生理機能、関連疾患について学ぶ	確認テスト、解説、 フィードバック 講義、ペアワーク ディスカッション	水溶性ビタミンの構造と生理機能、関連疾患について説明できる	(予習) テキストp208-218, 96を読み、要点をまとめる (復習) 水溶性ビタミンの生理機能について整理する	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	ビタミン④ ビタミンの代謝と栄養学的機能、他の栄養素との関連について学ぶ	確認テスト、解説、 フィードバック 講義、ペアワーク ディスカッション	ビタミンの代謝と栄養学的機能、他の栄養素との関連について説明できる	(予習) テキストp218-224を読み、要点をまとめる (復習) ビタミン代謝と栄養学的機能について整理する	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	ミネラル① 多量ミネラル (P, Ca, Mg)の体内分布、生理機能、関連疾患について学ぶ	確認テスト、解説、フィードバック 講義、ペアワーク ディスカッション	多量ミネラル (P, Ca, Mg)の体内分布、生理機能、関連疾患、Caの吸収について説明できる	(予習) テキスト p227-234, 97-98を読み、要点をまとめる (復習) 多量ミネラルの生理機能について整理する	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	ミネラル② 多量ミネラル(Na, K)、 微量ミネラル(Fe)の体内分布、生理機能、関連疾患について学ぶ	確認テスト、解説、フィードバック 講義、ペアワーク ディスカッション	多量ミネラル(Na, K)、 微量ミネラル(Fe)の体内分布、生理機能、関連疾患について説明できる	(予習) テキスト p234-238を読み、要点をまとめる (復習) 多量・微量ミネラルの生理機能について整理する	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	ミネラル③ 微量ミネラル (Fe, Cu, Zn, Mn)の体内分布、生理機能、関連疾患について学ぶ	確認テスト、解説、フィードバック 講義、ペアワーク ディスカッション	微量ミネラル (Fe, Cu, Zn, Mn)の体内分布、生理機能、関連疾患、Feの吸収について説明できる	(予習) テキスト p98-99, 240-245を読み、要点をまとめる (復習) 微量ミネラルの生理機能について整理する	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	ミネラル④ 微量ミネラル (I, Se, Mo)の体内分布、生理機能、関連疾患、他の栄養素との関連について学ぶ	確認テスト、解説、フィードバック 講義、ペアワーク ディスカッション	微量ミネラル (I, Se, Mo)の体内分布、生理機能、関連疾患、他の栄養素との関連について説明できる	(予習) テキスト p245-251を読み、要点をまとめる (復習) 微量ミネラルの生理機能について整理する	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	水・電解質の代謝 体水分の分布、水の出入と調節、電解質の代謝調節について学ぶ	確認テスト、解説、フィードバック 講義、ペアワーク ディスカッション	体水分の分布、水の出入と調節、電解質の代謝調節について説明できる	(予習) テキスト p253-267を読み、要点をまとめる (復習) 水・電解質の代謝について整理する	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	エネルギー代謝 エネルギー代謝、エネルギー消費量の算出について学ぶ	確認テスト、解説、フィードバック 講義、ペアワーク ディスカッション	エネルギー代謝、エネルギー消費量の算出について説明できる	(予習) テキスト p181-197を読み、要点をまとめる (復習) エネルギー代謝、エネルギー消費量の算出について整理する	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	遺伝子と栄養 遺伝形質と栄養の相互作用、疾患との関係について学ぶ	確認テスト、解説、フィードバック 講義、ペアワーク ディスカッション	遺伝形質と栄養の相互作用、疾患との関係について説明できる	(予習) テキスト p269-280を読み、要点をまとめる (復習) 遺伝形質と栄養の相互作用、疾患との関係について整理する	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力